△ジスロマック錠　［内］，▼ジスロマック点滴静注用　［注］

【重要度】　【一般製剤名】アジスロマイシン水和物（AZM）（U）　Azithromycin Hydrate　【分類】マクロライド系抗生物質［15 員環］
【単位】△250mg・▼600mg/錠，▼500mg/V
【常用量】
▼経口 250mg 錠
深在性皮膚感染症，リンパ管・リンパ節炎，呼吸器・耳鼻咽頭・歯科系：1 日 1 回 500mg，3 日間
尿道炎，子宮頸管炎：1 回 1000mg 単回
骨盤内炎症性疾患：注射剤による治療を行った後，250mg1 日 1 回［原則 7 日まで］

▼経口 600mg 錠
マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）：600mg/日［EB 併用］

▼点滴静注
1 日 1 回 500mg 点滴［原則 5 日まで］
【用法】
■錠剤：3 日間投与で有効な組織内濃度が約 7 日間持続する

■点滴静注：1 日 1 回，2hr 以上かけて点滴静注［注射用水で溶解し，薬物濃度を 1mg/mL 以下に希釈（注射部位疼痛を抑制するため）］
末梢血管より 2mg/mL の濃度に希釈して投与可能と思われるが，輸液量を減らす必要のある症例に限定し，血管炎の観察が必要（内田裕之，他: 日化療会誌 61: 256S, 2013）
【透析患者への投与方法】減量の必要なし（1,サンフォード感染症治療ガイド）
【その他の報告】データなし（3）
おそらく QT 延長のポテンシャルから，AMPC に比べ投与 5 日以内の心臓突然死のリスクが高い（Assimon MM, et al: Kidney Int 2022 PMID: 35752324）
■減量の必要はないが，点滴静注製剤は 1mg/mL 以下の濃度に調製する必要があるので輸液負荷が多くなる問題点がある（5）

HD 患者のピロリ除菌に CAM の代替として使用しても除菌成功率は変わらなかった（Jalalzadeh M, et al: Nephrourol Mon 2012 PMID: 23573488, Vafaeimanesh J, et al: Saudi J Kidney Dis Transpl 2014 PMID: 24434382）

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし（1,3,12,サンフォード感染症治療ガイド，Ma TKW, et al: Clin Kidney J 7: 507-12, 2014）
【特徴】15 員環マクロライド系抗生物質．組織移行性が高く半減期が長いため，3 日経口投与で 7 日間有効濃度を維持する．
【主な副作用・毒性】ショック，アナフィラキシー，SJS，TEN，DIHS，偽膜性大腸炎，出血性大腸炎，肝障害，間質性肺炎，血球減少，横紋筋融解症，腎不全，消化器症状，感覚器異常など．過量投与で聴力障害のおそれ．
【安全性に関する情報】透析患者での心臓突然死のリスクとなる［特に K 変化量が大きい場合］（Pun PH, et al: Kidney Med 2023 PMID: 37113163）
【吸収】吸収に及ぼす食事の影響はない（1）初回通過効果はごくわずか（11）SR-DS は食後 2hr 以上の空腹時に服用し，服用後 2hr は食事摂取を避ける（1）消化管系の有害事象の発現率は食後投与に比べ空腹時投与で軽減（1）
【F】37%（1,U,11）
【tmax】2.1～3.2hr（U）高齢者で 3.8～4.4hr（U）2.5hr［DS］（1）
【代謝】尿及び患者の胆汁中代謝物に含まれるのはほとんどは未変化体で、代謝物として脱メチル体、脱クラジノース体（1）3’-N 脱メチル化には CYP3A4 が関与する可能性（1）未変化体の活性と比較した代謝物の活性は，3’-N 脱メチル化体 10%，6-N 脱メチル化体 50%（1）35%が主に脱メチル化により代謝（U）
【排泄】尿中未変化体排泄率 9%［po，168hr まで］（1）4.5%［72hr まで］（U）胆汁、消化管分泌を介して未変化体としてほとんど糞中に排泄（1）胆汁中に未変化体として 50%排泄（U）尿中に，3’-N 脱メチル化体として 0.06%，6-N 脱メチル化体として 0.03%，脱クラジノース体として 0.67%回収される（1）
【CL】10mL/min/kg（1）
【t1/2】 61.9～68.1hr（1）血清で 11～14hr，白血球中で 34～57hr，組織中で 2～4 日（U）40～60hr（11）66hr［SR］（1）
【蛋白結合率】12.2～20.3%（1）12～50%（11）8～50%（12）濃度によって変化し，1μg/mL で 7%，0.02～0.05μg/mL で 50%（U）
【Vd】33.3L/kg（1,U）18L/kg（12）31L/kg（11）
【MW】785.03
【透析性】Vd が大きいため効率的に除去できないと思われる（5）資料なし（1）
【TDM のポイント】TDM の対象にならない．治療効果と相関する PK/PD パラメータは AUC/MIC および Cmax/MIC（1）
【O/W 係数】0.39［1-オクタノール/水系，pH7.0］（1）
【相互作用】SR：ワルファリン［PT-INR 上昇］，シクロスポリン［濃度上昇］，ネルフィナビル［アジスロマイシンの濃度上昇］と併用注意（1）酸化 Mg［アジスロ

マイシンの血中濃度低下］（1）ジゴキシンの血中濃度が上昇する可能性［P-gp を介したジゴキシンの輸送阻害と考えられている］（1）ベネトクラクスの効果が減弱するおそれ（1）

【備考】一般に注射薬と経口剤の総投与期間は 10 日以内（1）

【更新日】20240730

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。